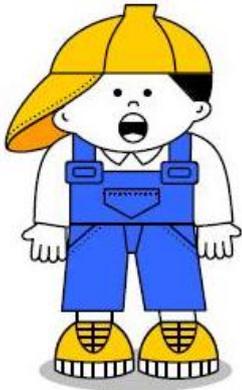


環境かわら版

ごみゼロ
いちのみや530作戦実施中

No. 31 (2009年11月1日 発行)



野焼きに

周辺住民から

苦情が！

最近市内も人口増で住居が建て込んできました。

野焼きのために、〈煙で窓が開けられない〉、〈洗濯物に臭いがついて困る〉、

〈臭いや煙で気分が悪くなる〉などの苦情や、相談が市に寄せられています。

(苦情は年100件余)

野焼きは一部の例外を除き原則禁止です。可燃物などとして収集日に出すなど、適切に処理をして、周辺住民の生活環境を損なわぬよう注意を！

※「野焼き」については

市環境保全課

電話(45)7185へ

お問い合わせください。



< 回 覧 >

* 裏面もお読みください。

へ市民環境活動紹介

「開明ウォーキングクラブ」の

エコ・ウォーク

今回は、今年4月に「いちのみやエコ・ウォーク」に登録いただいた”開明ウォーキングクラブ“（代表 吉川久雄氏）をご紹介します。



「開明ウォーキングクラブ」の皆さん(7月9日)

「開明ウォーキングクラブ」は昨年7月に、開明連区の高齢者趣味クラブとして発足しました。その活動は、毎回約6キロの道のりを2時間くらいかけて、周辺の名所・旧跡や記念碑を巡っています。毎月1回以上の活動を重ねているうちに会員もだんだんと増えてきました。



その活動の際に、道路にペトボトルや空缶がよく捨てられているのに目がとまり、ただ歩くのではなく、街をきれいにしながら歩こうという代表のひと言から、エコ・ウォークに登録して、エコ・ウォークワッペンをつけ、ごみ袋片手に、負担にならない程度にごみを拾いながら歩いています。



美濃路での活動

毎回のコースは、代表自らが会員の興味を持ちそうなことを考え、下調べしてから、現地に何度も足を運び、名所・旧跡を探し、トイレなどの場所もチェックし、決めていきます。なお、参加者には案内資料を配布します。

現在は、木曾川水系の名所・旧跡を順番に巡り、毎回驚きの発見があるようです。



エコ・ウォークワッペン

入会時にウォーキングテキストを配布し、心のウォーキングを第一にして、正しい歩き方の指導により、転ばなくなつたとの会員の言葉も。こうした代表の努力の甲斐もあり、会員も毎回活動を楽しみにしているようで、出席率も100%に近いそうです。

まさに生きがいと健康も兼ね備えた活動であると、代表の吉川さんの話しを聞いて感じました。

ご寄付ありがとうございます

ございました。

平成20年10月から始まったレジ袋有料化に伴う収益金の寄付がありました。

市では、環境保全活動に使用させていただきます。

「事業者名」

- ・(株)ジップドラッグ
- ・杉浦薬品(株) (ヘルスバンク)
- ・(株)ヤマナカ
- ・(株)平和堂

(順不同、敬称略)